



「地方自治体・民間団体との連携による山陰地域の観光産業・文化継承を中心とした国際交流の拠点構築」

法文学部 准教授 安齋 有紀

近年、島根県内の自治体では多言語に対応した観光案内事業が進められ、特にフランスからの観光客の増加に伴い、フランス語での交通案内・観光パンフレット・街かど案内板・博物館解説などの作成や、通訳ガイド養成が注目されています。

そこで、在日・訪日のフランス人観光客に向けて山陰地域の魅力を発信し、誘客を推進していくため、フランス言語文化研究室では留学生および地元の学生の目線による新しいタイプの観光パンフレットをフランス語で作成する活動を行なっています。これまでに出雲市（出雲市経済環境部観光課インバウンド推進室と出雲観光協会）、雲南市（雲南市産業観光部観光振興課と雲南市観光協会）と協働で作業をすすめてきました。本学の学生と留学生が現地を訪れ、地元で文化を継承し守っている方々に直接話を聞き、自分たちの目で見た感想や情報をフランス語で掲載しています。

学生が留学生とともに地方自治体・民間団体との連携を通して山陰地域の文化や産業を国内外に発信し、地域の在り方や将来の可能性についてグローバルな視点で主体的に考える本活動は、地域における国際交流活動や観光客誘致・インバウンド推進に貢献する機会となっています。



出雲市パンフレット



雲南市パンフレット



しまね大交流会での活動紹介



雲南市菅谷たたら山内（高殿）見学